

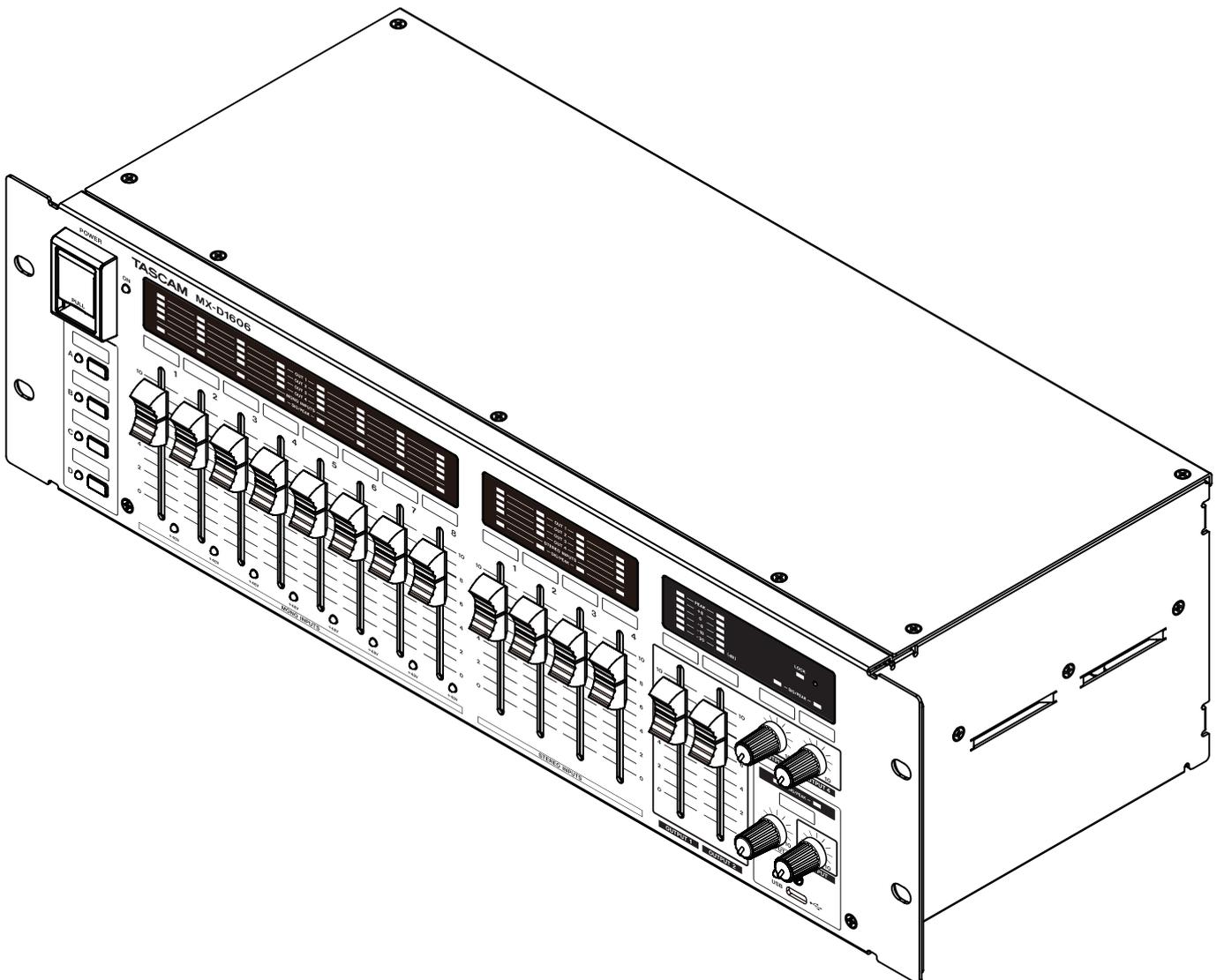
TASCAM

D01410201C

MX-D1606

DIGITAL MIXER

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<h2>警告</h2>	<p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>		<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>指示</p>		<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>		<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしな 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近付けて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して設置する ラックなどに入れるときは、背面から10cm 以上の隙間を空ける 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>		<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>		<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>

	<h2>注意</h2>	<p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>		<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外すコードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>指示</p>		<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>		<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>		<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>		<p>5年に1度は、機器内部の掃除をお買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

目次

安全にお使いいただくために.....	2	第8章 仕様／定格	19
第1章 はじめに.....	5	ミキサー仕様.....	19
本機の概要.....	5	アナログオーディオ入出力.....	19
本製品の構成.....	5	デジタルオーディオ入出力.....	19
本書の表記.....	5	コントロール入出力.....	19
商標および著作権に関して.....	5	オーディオ性能.....	19
TASCAM ID について.....	5	設定用ソフトウェア OS 動作条件	19
設置上の注意.....	6	一般.....	19
電源について.....	6	第9章 寸法図／レベルダイヤグラム／ブロックダイ	
結露について.....	6	ヤグラム	20
製品のお手入れ.....	6	寸法図.....	20
アフターサービス.....	6	レベルダイヤグラム.....	21
第2章 各部の名称と働き	7	ブロックダイヤグラム.....	22
フロントパネル -1.....	7		
フロントパネル -2.....	8		
リアパネル.....	9		
第3章 接続例	10		
外部機器を接続する.....	10		
第4章 ミキサー機能の概要	11		
TASCAM MX-D CONNECT について.....	11		
ミキサー機能の概要.....	11		
入力コンプレッサー調節.....	11		
入力コライザー調節.....	12		
出力コライザー調節.....	13		
ハウリングサプレッサー (H.SUP).....	13		
MATRIX (マトリクス).....	14		
アナウンスミュート (A.MUTING).....	14		
ミュージックミュート (M.MUTING).....	14		
ディレイ調節.....	14		
OUT1・OUT2 出力形式選択 (MONO/STEREO).....	14		
A/B バランス (OUTPUT1、2の各 A/B).....	14		
オシレーター.....	14		
出力コンプレッサー.....	15		
パターンメモリー.....	15		
第5章 外部コントローラーの使用について	16		
外部コントローラーについて.....	16		
使用方法.....	16		
コントローラー本体の設定および接続.....	16		
第6章 接続コネクタについて	17		
REMOTE I/O 端子の接続.....	17		
外部コントローラー端子の接続 (RS-485 端子).....	17		
ユーロブロックプラグの接続について.....	17		
第7章 トラブルシューティング／本体初期化設定..	18		
トラブルシューティング.....	18		
本体初期化設定.....	18		

このたびは、TASCAM DIGITAL MIXER MX-D 1606をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、本書をいつでも見られる所に必ず保管してください。
また取扱説明書は、TASCAM のウェブサイトからダウンロードすることができます。



MX-D 1606
<https://tascam.jp/jp/product/mx-d1606/support>

本機の概要

- 12(8モノラル・4ステレオ)入力 / 4(2モノラル / ステレオ・2モノラル)出力のアナログ音声入出力マトリクスが可能
- 60 mmフェーダーで各入出力レベルを直感的に制御
- 2入力 / 2出力の USB オーディオインターフェース機能を搭載
- 不快なハウリングを抑制するハウリングサブレッサーを搭載
- Ethernet、RS-485、REMOTE I/O による外部制御に対応、現場に応じたシステム構築が可能
- アナウンスや BGM 送出に便利な自動ミュート機能を搭載
- 設計 / 施工・メンテナンス用の Windows 対応ソフトウェア [TASCAM MX-D CONNECT](無償ダウンロード)
- 壁埋め込み型コントローラー [RC-W100](別売)に対応

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 本体 x1
- 電源コード x1
- PSE 変換プラグ (3P-2P) x1
- ユーロブロックプラグ x14
- ケーブルバンドキット x1
- ラックマウントビスキット x1
- 取扱説明書 (本書、保証書付き) x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン / 端子などを「**POWER** スイッチ」のように太字で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iOS、iPad、iPadOS および iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに關します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

TASCAM ID について



<https://tascamid.tascam.jp/ja/customer/account/login>

TASCAM ID は、TASCAM ブランドが提供するサービスをご利用いただくためのアカウントです。

TASCAM ID は、どなたでも無料でご登録いただけます。

TASCAM ID に登録すると



お得な情報や最新情報をお届け
TASCAM ブランドに関するお得な情報や最新情報をニュースレターにしてお届けします。
ニュースレターは、ユーザー登録の際に「ニュースレターを購読」にチェックすると、登録したメールアドレスに配信されます。

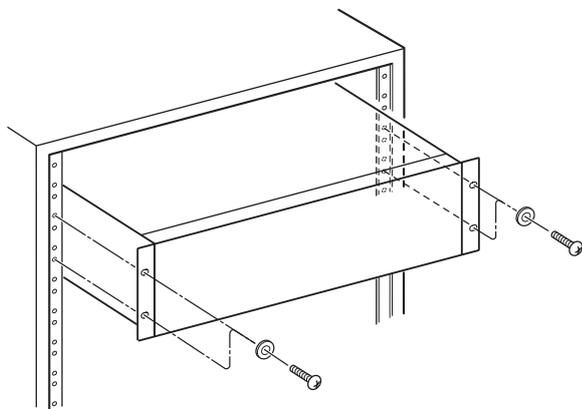


製品登録して質の高いサポートを
製品をご登録いただくと、登録された製品に関する更新があった際などお知らせを受け取ることができます。
ファームウェア・ソフトウェアなどをダウンロードしたいときは、登録済み製品一覧より、該当の製品ページへダイレクトにジャンプすることができます。

第1章 はじめに

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。



電源について

- 付属の電源コードを AC IN 端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V(50-60Hz) 以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

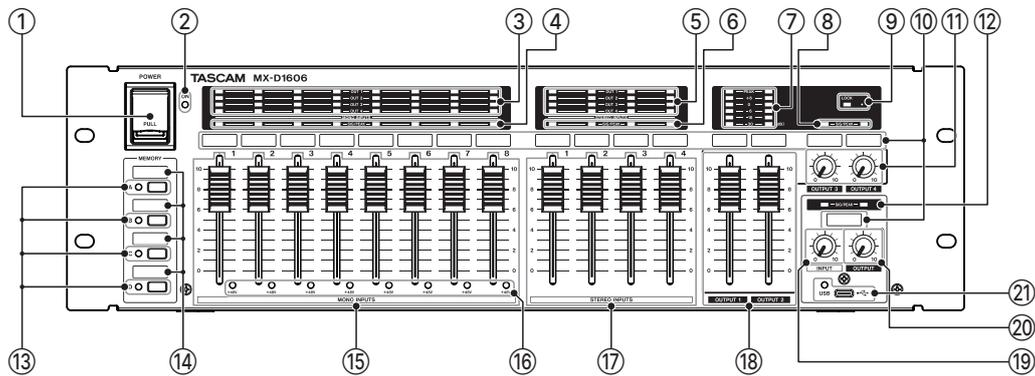
製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
 - 型名、型番 (MX-D1606)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル-1



① POWER スイッチ

電源をオン/オフします。

② POWER インジケータ

電源がオンの時、このインジケータ (青色) が点灯します。
● 本体ファームウェアのアップデート・初期化中は、点滅します。

③ マトリクスインジケータ (MONO INPUTS1~8)

MONO INPUT1~8 (㉔) の信号が、OUTPUT1~4 (㉓) に出力されるとき、このインジケータ (橙色) が点灯します。

④ SIG / PEAK インジケータ (MONO INPUT1~8)

MONO INPUT1~8 (㉔) に、-30 dBFS 以上の信号が入力されると、対応するインジケータが点灯します。
入力信号のレベルがピーク値 (-3 dBFS 以上) に達すると、インジケータ (赤色) が点灯します。(*1)
その場合、接続している機器の出力を下げてください。

⑤ マトリクスインジケータ (STEREO INPUTS1~4)

STEREO INPUT1~4 (㉕) の信号が、OUTPUT1~4 (㉓) に出力されるとき、このインジケータ (橙色) が点灯します。

⑥ SIG / PEAK インジケータ (STEREO INPUT1~4)

STEREO INPUT1~4 (㉕) に、-30 dBFS 以上の信号が入力されると、対応するインジケータが点灯します。
入力信号のレベルがピーク値 (-3 dBFS 以上) に達すると、インジケータ (赤色) が点灯します。(*1)
その場合、接続している機器の出力を下げてください。

⑦ 出力レベルメータ (左側: OUT1、右側: OUT2)

OUTPUT1、2 (㉑) の出力信号をレベルで表示します。
出力信号のレベルがピーク値 (-3 dBFS 以上) に達すると、インジケータ (赤色) が点灯します。(*1)
OUTPUT1、2 (㉑) の出力フェーダー (㉒) を下げてください。

⑧ SIG / PEAK インジケータ (左側: OUT3、右側: OUT4)

OUTPUT3、4 (㉒) の出力信号をレベルで表示します。
出力信号のレベルがピーク値 (-3 dBFS 以上) に達すると、インジケータ (赤色) が点灯します。(*1)
OUTPUT3、4 (㉒) の出力ボリューム (㉑) を下げてください。

⑨ LOCK スイッチ/インジケータ

フェーダー (㉑ ㉒ ㉓)、MEMORY スイッチ (㉑) の動作を無効にするスイッチです。

- 先端が細い棒で LOCK スイッチを押すと、LOCK インジケータ (赤色) が点灯し、フェーダーや MEMORY スイッチ (㉑) による操作が無効になり、ロック状態となります。(TASCAM MX-D CONNECT を使用し、ロック中も操作可能なフェーダーを設定できます。)
- 再度 LOCK スイッチを押すと、LOCK インジケータが消灯し、フェーダーや MEMORY スイッチ (㉑) のロック状態が解除され、操作が有効になります。
- ロックした位置より大きな音量位置でロック解除した場合、ロック時の音量が保持されています。そのような場合は、一度、フェーダー (㉑ ㉒ ㉓) やボリューム (㉑ ㉒ ㉓) をロックした位置より下げた後、音量調整を行ってください。

⑩ 機器名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。
ラベルテープなどで、下記の名称例を参考にシールを作成し、表示部に貼り付けてご使用ください。
表示部のサイズは、幅18 mm × 高さ6 mm です。

⑪ 出力レベル調節ボリューム (左側: OUT3、右側: OUT4)

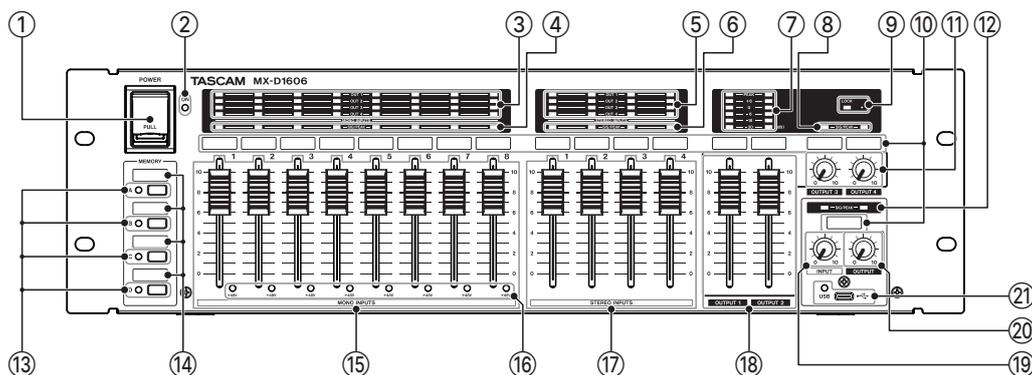
OUTPUT3、4 (㉒) の出力レベルを調節します。

⑫ SIG / PEAK インジケータ (USB IN/OUT)

- (左側: USB AUDIO 入力、右側: USB AUDIO 出力)
- USB 端子 (㉑) から、-30 dBFS 以上の信号が入力されると、左側のインジケータが点灯します。
入力信号のレベルがピーク値 (-3 dBFS 以上) に達すると、インジケータ (赤色) が点灯します。(*1)
USB 接続している機器の音声出力レベルを下げてください。
 - USB 端子 (㉑) に音声信号が出力されると、右側のインジケータが点灯します。
出力信号のレベルがピーク値 (-3 dBFS 以上) に達すると、インジケータ (赤色) が点灯します。(*1)
本機の USB 出力レベル調節ボリューム (㉑) を下げてください。

*1: 入力、または出力回路に過度の負荷をかけている状態で、長時間連続使用しないでください。その場合、故障の原因となります。

フロントパネル-2



⑬ MEMORY スイッチ/インジケータ (A ~ D)

各スイッチに割り付けられたパターンメモリを呼び出します。A ~ D に割り付けられたパターンメモリが呼び出されているときにインジケータ (橙色) が点灯します。

- パターンを呼び出すには、**MEMORY** スイッチをインジケータの点滅が点灯に変わるまで、押し続けます。(点灯する前に **MEMORY** スイッチから手を離すと、パターンは呼び出されません。)
- 各スイッチへのパターンメモリ設定は、**TASCAM MX-D CONNECT** で行います。初期値では、**MEMORY** スイッチ (A ~ D) にパターン1~4が設定してあります。(パターン1~4の内容は、全て同じです。)

⑭ パターンメモリ名称表示部 (A ~ D)

A ~ D に割り付けられたパターンメモリの名称を表示する場所です。ラベルテープなどで、ラベルシールを作成し、表示部に貼り付けてご使用ください。表示部のサイズは、幅18 mm ×高さ6 mm です。

⑮ MONO INPUT フェーダー (1 ~ 8)

MONO INPUT 1 ~ 8 (⑳) から入力された信号を本機のマトリクスミキサーに送る音量を調節します。

- 本体の操作で入力のマトリクスアサインを変更できます。詳細は、14ページ「MATRIX (マトリクス)」をご参照ください。

⑯ +48V ファンタム電源インジケータ

MONO INPUT 1 ~ 8 (⑳) に、ファンタム電源が供給されているときにインジケータが点灯 (赤) します。

- ファンタム電源のオン/オフは、**TASCAM MX-D CONNECT** 側から操作します。

⑰ STEREO INPUTS フェーダー (1 ~ 4)

STEREO INPUT 1 ~ 4 (㉑) から入力された信号を本機のマトリクスミキサーに送る音量を調節します。

⑱ 出力レベル調節フェーダー (OUT1、OUT2)

リアパネルの **OUTPUT** 1、2 (㉒) の出力レベルを調節します。

⑲ USB 入力レベル調節ボリューム (USB INPUT)

USB 接続している機器から本機への入力音量を調節します。

⑳ USB 出力レベル調節ボリューム (USB OUTPUT)

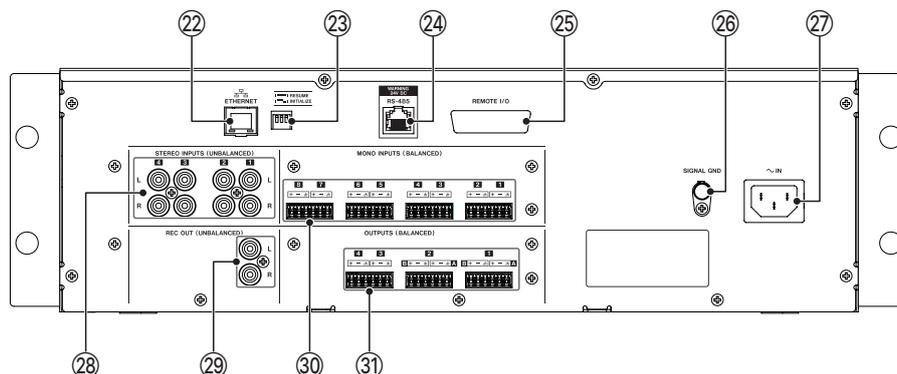
本機から USB 接続している機器への出力音量を調節します。

㉑ USB 端子 (Type-C) / インジケータ

USB Type-C の USB ポートです。USB ケーブル (Type-A - Type-C、または Type-C - Type-C) を使って、パソコンと接続します。48 kHz/24 bit、2 IN/2 OUT のオーディオインターフェースとして使用することができます。USB 接続を認識するとインジケータ (橙色) が点灯します。

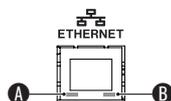
- 本機は、Windows OS、macOS の標準ドライバーでオーディオインターフェースを使用できます。専用ドライバーは不要です。
- 保護カバーを取り付けてあります。使用する場合は、カバーを外してからお使いください。

リアパネル



②② ETHERNET 端子／ネットワークステータスインジケータ

イーサネット端子(*2)です。
ネットワーク接続し、TASCAM MX-D CONNECT から本機を制御するのに使用します。



A リンクステータス／アクティビティインジケータ(緑色)
点灯は、機器間のリンクが確立されていることを示します。
点滅は、機器間の信号のやり取りを示します。

B 100 Mbps リンクステータスインジケータ(オレンジ)
点灯は、100 Mbps のイーサネットリンクが確立されていることを示します。

- 使用する LAN ケーブルについて
カテゴリ 5e 以上の STP ケーブルをご使用ください。
クロスオーバー・ケーブル、ストレート・ケーブルのどちらでも使用できます。

②③ 動作モード切換えスイッチ

本機の動作モードを切換えるためのスイッチです。
電源オフの状態で作動モード切換えスイッチを以下のように設定し、POWER スイッチを入れると設定された動作モードで起動します。

	動作モード切換えスイッチ
通常モード	■ ■ ■ ■ RESUME
初期化モード	■ ■ ■ ■ INITIALIZE

(初期設定:[通常モード (RESUME)])

初期化モードについては、18ページ「本体初期化設定」をご参照ください。

注意

- 必要なとき以外は、[通常モード (RESUME)] を選択してください。
(初期化モードでは、TASCAM MX-D CONNECT で本機に設定したパラメーターも初期化されます。)
- 表にないスイッチの設定はしないでください。
本機、または接続されている機器の故障の原因となります。
- 本機の電源を入れたままで、このスイッチの切換えを行わないでください。本機の故障の原因となります。

②④ RS-485 端子

外部コントローラー RC-W100を接続する端子(*2)です。
本機を外部から制御することが可能です。

- 外部コントローラー RC-W100については、16ページ「外部コントローラーについて」をご参照ください。
- RS-485 端子については、17ページ「外部コントローラー端子の接続 (RS-485 端子)」をご参照ください。

②⑤ REMOTE I/O 端子

D-Sub 25ピンの入出力制御信号、および外部電源制御信号の接続端子です。

REMOTE I/O 端子については、17ページ「REMOTE I/O 端子の接続」をご参照ください。

②⑥ SIGNAL GND 端子

システム配線時に、機器同士のシャーシアースをとる場合に使用します。

注意

接地アース(保護接地)ではありませんので、不用意に接地するとハム音などの原因になります。

②⑦ AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

②⑧ STEREO INPUTS L/R (1 ~ 4) 端子 (UNBALANCED)

RCA ピンジャックタイプのステレオ・アナログ入力端子です。
CD、メモリープレーヤーなどのステレオ出力機器を接続します。

②⑨ REC OUT L/R 端子 (UNBALANCED)

RCA ピンジャックタイプの録音用アナログ出力端子です。
メモリーレコーダーなどの録音用機器に接続します。

③① MONO INPUTS (1 ~ 8) 端子 (BALANCED)

ユーロブロックタイプのモノラル・アナログ入力端子です。
(信号名は、左から HOT、COLD、GND)

- マイクなどのモノラル出力機器を接続します。
MONO INPUT 7、8 端子は、TASCAM MX-D CONNECT を使用して、ステレオ入力として扱うことができます。
ユーロブロックについては、17ページ「ユーロブロックプラグの接続について」をご参照ください。

③② OUTPUTS (1 ~ 4) 端子 (BALANCED)

ユーロブロックタイプのアナログ出力端子です。
パワーアンプなどに接続します。
(左から HOT、COLD、GND)

- 出力形式については、14ページ「OUT1・OUT2出力形式選択 (MONO/STEREO)」をご参照ください。
- ユーロブロックについては、17ページ「ユーロブロックプラグの接続について」をご参照ください。

*2: 本機の ETHERNET 端子 (②②)/RS-485 端子 (②④) のプロトコル仕様については、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/product/mx-d1606/support>) からダウンロードすることができます。

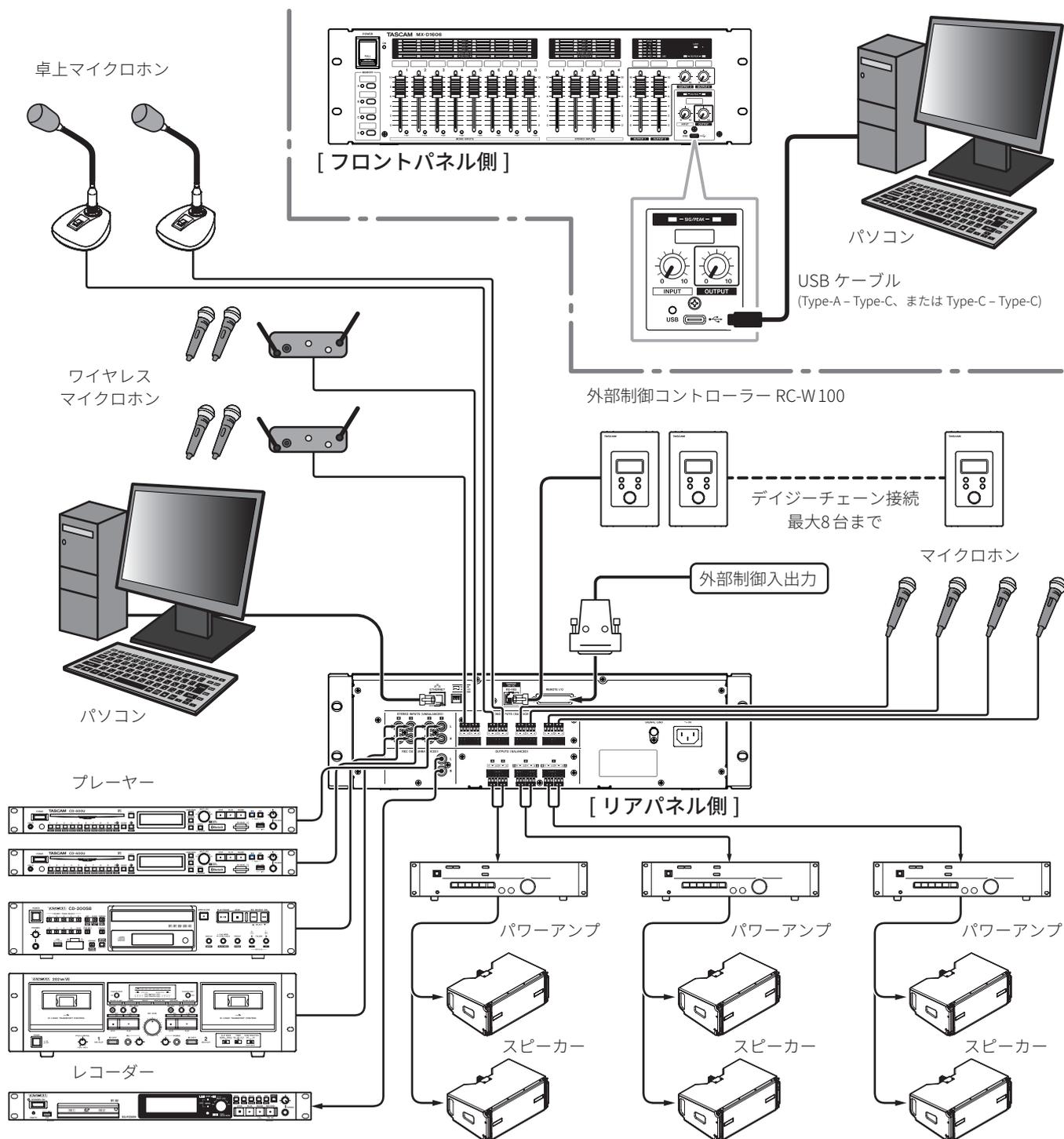
第3章 接続例

外部機器を接続する

以下に、本機の接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフ、またはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。
- オーディオ機器を接続する場合には、以下のフェーダーおよびボリュームを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になる可能性があります。
 - MONO INPUT フェーダー (1～8) / STEREO INPUTS フェーダー (1～4) / 出力レベル調節フェーダー (OUT1、OUT2)
 - 出力レベル調節ボリューム (OUT3、OUT4) / USB 入力レベル調節ボリューム / USB 出力レベル調節ボリューム

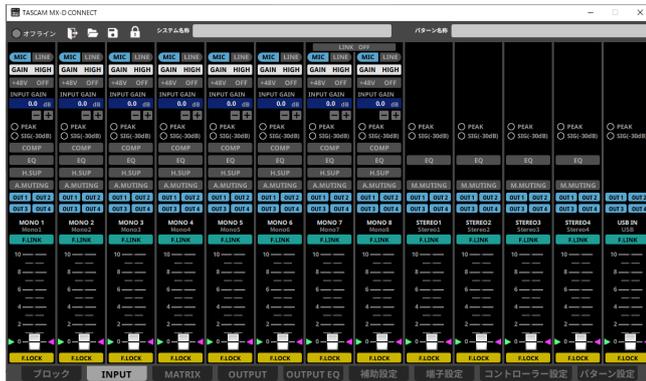


専用アプリケーション TASCAM MX-D CONNECT 使用して、本機のミキサー機能を細かく設定をすることができます。
また、その設定された内容を本機の内蔵メモリーに書き込みます。そのため次回電源をオンにした際も電源を切る前と同じ状態で使い始めることができます。

TASCAM MX-D CONNECT について

TASCAM MX-D CONNECT を使って、本機をイーサネット経由で、制御することができます。
詳細については、TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/product/mx-d1606/support>) の TASCAM MX-D CONNECT の取扱説明書をご覧ください。

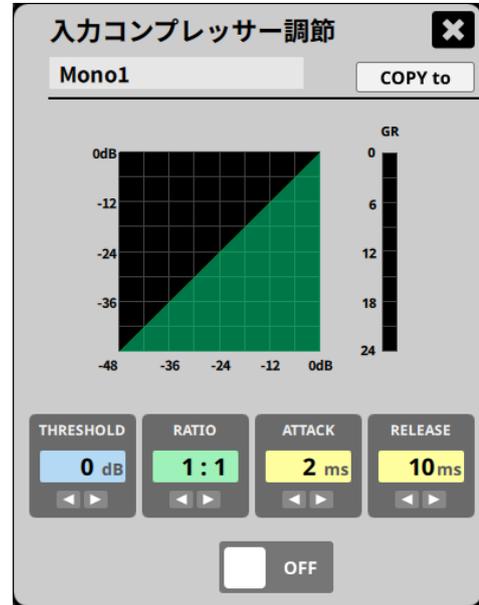
[TASCAM MX-D CONNECT の INPUT 画面]



入力コンプレッサー調節

入力音量がスレッシュホルドレベルを超えた場合に、コンプレッサーがかかり (音量の変化幅を圧縮)、音量のバラつきを抑えます。この機能は、MONO INPUT1~8 (㊉) に搭載されています。
(初期値: [OFF])

[入力コンプレッサー設定画面]



- ON/OFF
コンプレッサーを有効 / 無効にします。
- THRESHOLD
コンプレッサーをかけ始めるレベル (スレッシュホルドレベル) を調節します。
- RATIO
入力音量の圧縮率を設定します。
値が大きいほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。
- ATTACK
入力音量がスレッシュホルドレベルを超えた場合に、[RATIO] で設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。
- RELEASE
入力音量がスレッシュホルドレベルより下がった後、圧縮が解除され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。
- GR
ゲインリダクションメーター
コンプレッサーのかかり具合を確認できます。

パラメーター	設定範囲	初期値
THRESHOLD	-32 dB ~ 0 dB	0 dB
RATIO	1:1 ~ ∞:1	1:1
ATTACK	2 ms ~ 200 ms	2 ms
RELEASE	10 ms ~ 1000 ms	10 ms

ミキサー機能の概要

<ul style="list-style-type: none"> ● MIC/LINE (初期値: [MIC]) MONO INPUT1~8 (㊉) にマイクを接続するか、ラインレベルの機器を接続するかを選択します。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● +48V (初期値: [OFF]) MIC/LINE の選択で [MIC] を選択した場合、ファンタム電源 [+48V] のオン/オフを設定できます。ファンタム電源がオンのとき、本機のフロントパネルの+48V ファンタム電源インジケータ (㊉) が点灯 (赤) します。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● GAIN HIGH/LOW (初期値: [HIGH]) MIC/LINE の選択で [MIC] を選択した場合、[GAIN] の HIGH/LOW を設定できます。GAIN が HIGH のとき、入力信号を約 [30 dB] 増幅させることができます。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● INPUT GAIN (初期値: [0.0 dB]) MIC/LINE の選択で [MIC] を選択した場合、入力ゲインを調整します。 INPUT GAIN: 0.0 dB ~ +36.0 dB 	
<ul style="list-style-type: none"> ● INPUT TRIM (初期値: [0.0 dB]) MIC/LINE の選択で [LINE] を選択した場合、入力トリムを調整します。 INPUT TRIM: -10.0 dB ~ 10.0 dB 	
<ul style="list-style-type: none"> ● LINK OFF / ON (初期値: [OFF]) リンク機能をオンにすると、MONO INPUT7、8 端子 (㊉) をステレオ入力として扱うことができます。ステレオリンク時は、LINE として機能します。 	

第4章 ミキサー機能の概要

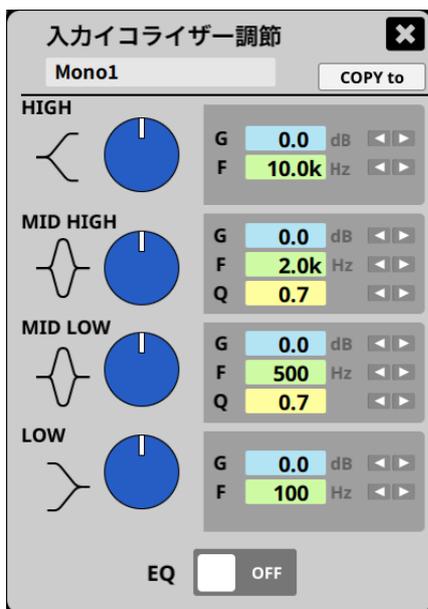
入カイクライザー調節

特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。使用するマイクの帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。
(初期値:[OFF])

モノラル入力

MONO INPUT1~8 (㊸) には、4バンドイコライザーが搭載されています。

[入カイクライザー(モノラル)設定画面]



● EQ: ON/OFF

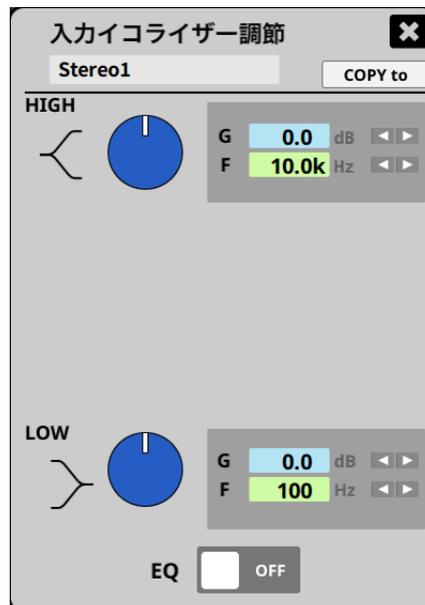
入カイクライザーを有効/無効にします。

形式	パラメーター	設定範囲	初期値
HIGH ハイシェルピング	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB	0 dB
	F 中心周波数	2 kHz ~ 18 kHz	10 kHz
MID HIGH ピーキングタイプ	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB	0 dB
	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz	2 kHz
	Q 帯域幅	0.5 ~ 12	0.7
MID LOW ピーキングタイプ	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB	0 dB
	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz	500 Hz
	Q 帯域幅	0.5 ~ 12	0.7
LOW ローシェルピング	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB	0 dB
	F 中心周波数	40 Hz ~ 2 kHz	100 Hz

ステレオ入力

STEREO INPUTS L/R1~4 (㊹) には、2バンドイコライザーが搭載されています。

[入カイクライザー(ステレオ)設定画面]



● EQ: ON/OFF

入カイクライザーを有効/無効にします。

形式	パラメーター	設定範囲	初期値
HIGH ハイシェルピング	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB	0 dB
	F 中心周波数	2 kHz ~ 18 kHz	10 kHz
LOW ローシェルピング	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB	0 dB
	F 中心周波数	40 Hz ~ 2 kHz	100 Hz

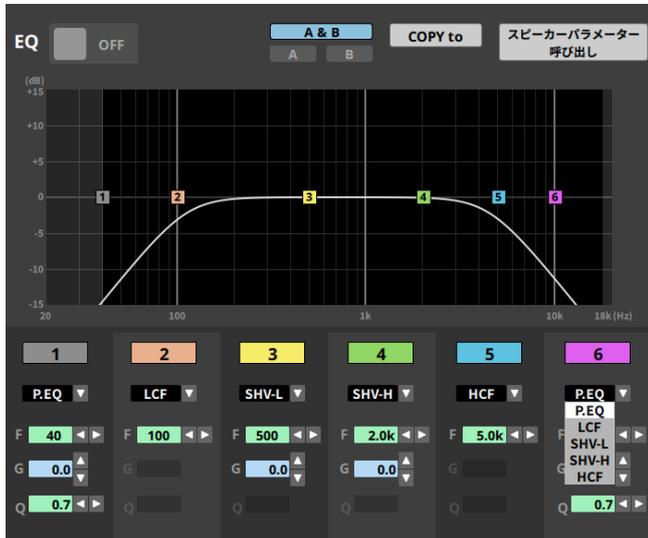
出カイコライザー調節

パワーアンプ、スピーカーシステム、音場などの特性に対応させる出カイコライザーです。

(初期値:[OFF])

この機能は、**OUTPUTS** 1～4 (㉓) に搭載されています。

[出カイコライザー設定画面]



● 6バンドのイコライザーを出力系統ごとに搭載しています。

● 6バンドを以下の形式から個別に選択できます。

● **EQ: ON/OFF**

出カイコライザーを有効/無効にします。

形式	パラメーター	設定範囲
P.EQ ピーキングタイプ	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz
	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB
	Q 帯域幅	0.5 ~ 12
LCF ローカットフィルター	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz
SHV-L ローシェルビング	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz
	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB
SHV-H ハイシェルビング	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz
	G ゲイン	-15 dB ~ +15 dB
HCF ハイカットフィルター	F 中心周波数	40 Hz ~ 18 kHz

P.EQの初期値

ゲイン	全て0.0 dB
帯域幅	全て0.7
中心周波数1	40 Hz
中心周波数2	100 Hz
中心周波数3	500 Hz
中心周波数4	2 kHz
中心周波数5	5 kHz
中心周波数6	10 kHz

ハウリングサプレッサー (H.SUP)

自動計測を行うと、音場の残響特性、伝送特性など固有のハウリング周波数や抑圧レベルを分析して、プリセットフィルター(4バンド)を設定し、ハウリングを抑制します。

システム使用中にハウリングが発生すると、アクティブフィルター(2バンド)が自動的にハウリングを抑制します。

(初期値:[OFF]、プリセットフィルター未設定)

メモ

- ハウリングサプレッサーが[ON]の場合、プリセットフィルター未設定でもアクティブフィルターは、動作しますので正弦波やテストトーンなどを使用される場合は、[OFF]にしてください。
- 自動計測を行う際は、マイクとスピーカーの距離を5m以上離して、無音の状態で行なってください。
- 自動計測は、専用アプリケーション **TASCAM MX-D CONNECT** でも行うことができます。

● ハウリングサプレッサーの自動計測手順

アプリと接続されているときは、本体操作による自動計測ができません。アプリから操作して行ってください。

十分な効果を得るために、自動計測は実際に使用する環境と同じ状態(各種ミキサー設定、スピーカーやマイクの位置)で行ってください。

1. 本機の出力音量を調節する

- **OUTPUT** 1、2 (㉓) の出力レベル調節フェーダー (㉔) を [8] の位置に設定します。
- **OUTPUT** 3、4 (㉓) の出力レベル調節ボリューム (㉕) を3時の位置に設定します。

2. MONO INPUT (1～8) フェーダー (㉖) を [8] の位置に設定する

3. 本機に接続したパワーアンプの出力音量を調節する

マイクで声を出しながら、パワーアンプの出力音量を少しずつ上げ、必要な音量になるよう調節してください。

メモ

パワーアンプの出力音量を必要な音量に調節後、マイクの前で大きく"パン"と手をたたいて、ハウリングが発生しないことを確認してください。

4. MONO INPUT (1～8) フェーダー (㉖) を [0] の位置に設定する

5. 自動計測を行う

- 本機の操作部の **MEMORY** スイッチ (㉗) の "A"、"C"、"D" を同時に2秒以上押します。
- **MEMORY** スイッチ (㉗) のインジケーター "A"、"C"、"D" が点灯し、自動計測が始まります。
- 自動計測が終了すると、**MEMORY** スイッチの各インジケーターは、元の点灯状態にもどります。

自動計測中にエラーになった場合

- **MEMORY** スイッチ (㉗) のインジケーター "A"、"B"、"C"、"D" の全てが点灯した場合は、計測エラーです。
- 計測エラーになった場合は、マイクの向き、スピーカーの向き、パワーアンプの出力音量などを再度調節し、**手順 1.** からやり直してください。

注意

拡声レベルが極端に上がっていたり、マイクとスピーカーが接近しすぎていると、本機のハウリングサプレッサーの自動計測が正確に行えない場合があります。

第4章 ミキサー機能の概要

MATRIX (マトリクス)

本機は、12 × 4のアナログ音声入出力をマトリクスで組むことが可能です。

各出力 (OUT1~4) に対して、アサインする入力 (MONO INPUTS 1~8、STEREO INPUT 1~4) を選択・設定します。

メモ

- USB IN はアナログ入力同様、OUT4系統すべてとマトリクスを組むことが可能です。
- REC OUT、USB OUT は、OUT4系統のいずれかとバスを共有します。
- REC OUT、USB OUT から出力される信号は、選択した **OUTPUTS 1~4** (③) の信号を加算したものが出力されます。

(初期値: OUT1~4は、全て [ON]、REC OUT および USB OUT は、OUT1のみ [ON])

[MATRIX 画面]



アナウンスミュート (A.MUTING)

本機能は、ダッキングの動作をします。

指定した **MONO INPUT 1~8** (⑩) に信号 (音声など) を入力すると、同じ出力系統にアサインされている **STEREO INPUT** 信号の音量を自動的にミュート (減衰) させ、目的のアナウンスを明瞭に放送することができます。

指定した **MONO INPUT 1~8** (⑩) の信号がなくなると、自動的に **STEREO INPUT 1~4** (⑨) 信号の音量が元に戻ります。

- ミュートレベル
アナウンスミュートで、減衰させるレベルを設定します。
設定範囲: $-\infty \sim -3$ dB (初期値: -18 dB)
- ミュートホールド時間
ミュート (減衰) を解除するまでの時間を設定します。
設定範囲: 0.1、0.5 ~ 5.0 (0.5秒刻み) (初期値: 2.0秒)

ミュージックミュート (M.MUTING)

指定した **STEREO INPUT 1~4** (⑨) に信号 (音楽など) を入力すると、同じ出力系統にアサインされている他の **STEREO INPUT** に入力されていた信号を自動的にミュート (消音) します。

複数のチャンネルを ON にしたときは、チャンネル番号の小さい方が優先されます。

指定した **STEREO INPUT 1~4** (⑨) の信号がなくなると、ミュートされていた信号は自動的に元の音量に戻ります。

- ミュートミュージックミュートを起動する **STEREO INPUT 1~4** (⑨) を指定します。
- ミュートホールド時間
ミュート (減衰) を解除するまでの時間を設定します。
設定範囲: 0.1、0.5 ~ 5.0 (0.5秒刻み) (初期値: 2.0秒)

メモ

ステレオリンク時の **MONO INPUT 7/8** は、アナウンスミュートおよびミュージックミュートの対象外です。

ディレイ調節

出力チャンネルの信号の遅延を調節します。

サブスピーカーへの出力信号をメインスピーカーの出力に対し時間の遅れを発生させ、音像を前面に定位させるなどのディレイ時間を設定します。

端子	設定範囲とステップ	初期値
OUT1~4	0 ~ 300 msec、 1 msec Step	0 msec

OUT1・OUT2出力形式選択 (MONO/STEREO)

OUT1、および OUT2の出力形式をモノラル、またはステレオに指定します。

- ステレオで使用する場合は、OUT1AまたはOUT2Aに Lch(左)、OUT1BまたはOUT2Bに Rch(右) が出力されます。
(初期値: [STEREO])

A/B バランス (OUTPUT 1、2の各 A/B)

OUT1A/1B と OUT2A/2B の、出力信号のバランスを設定できます。

端子	設定範囲	初期値
OUT1、OUT2	A50 ~ C ~ B50	C

オシレーター

チャンネル毎にテスト信号を出力できます。

スピーカーの調節など利用できます。

テスト信号は正弦波、ホワイトノイズ、ピンクノイズを選択できます。テスト信号の種類は、全ての出力に共通です。

出力毎に、異なる設定にはできません。

パラメーター	設定範囲	初期値
TYPE	Off、Pink Noise、White Noise、Sine Wave	Sine Wave
FREQUENCY (*)	100 Hz、1 kHz、10 kHz、18 kHz	1 kHz
LEVEL	-36 dB ~ 0 dB	-20 dB

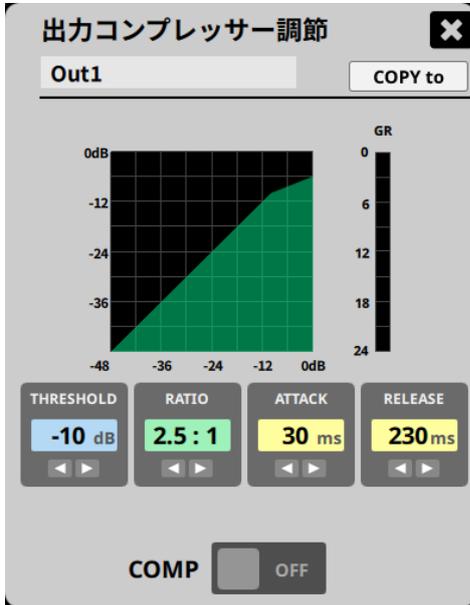
* TYPE で [Sine Wave] を選択したときに FREQUENCY が選択できます。

出力コンプレッサー

突発的な過大出力による歪みを防ぎ、アンプ、スピーカーなどを保護します。

(初期値 : [OFF])

[出力コンプレッサー設定画面]



- **COMP : ON/OFF**
コンプレッサーを有効 / 無効にします。
- **THRESHOLD**
コンプレッサーをかけるレベル (スレッシュホールドレベル) を調節します。
- **RATIO**
入力音量の圧縮率を設定します。
値が大きいくほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。
- **ATTACK**
入力音量がスレッシュホールドレベルを超えた場合に、[RATIO] で設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。
- **RELEASE**
入力音量がスレッシュホールドレベルより下がった後、圧縮が解除され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。
- **GR**
ゲインリダクションメーター
コンプレッサーのかかり具合を確認できます。

パラメーター	設定範囲	初期値
THRESHOLD	-32 dB ~ 0 dB	-10 dB
RATIO	1 : 1 ~ ∞ : 1	2.5 : 1
ATTACK	2 ms ~ 200 ms	30 ms
RELEASE	10 ms ~ 1000 ms	230 ms

パターンメモリー

使用目的に応じたミキサー設定を1つのパターンとして、最大16パターンまで本体内に記憶できます。

16パターンの中から、任意の4パターンを **MEMORY** スイッチ (⑬) を使って、呼び出すことができます。

下記の項目は、パターンメモリーには保存されません。

- **MEMORY** スイッチ (⑬) のパターンメモリー割り付け設定
- 外部コントローラーシステムの有効 / 無効設定
- ネットワーク設定

第5章 外部コントローラーの使用について

外部コントローラーについて

RC-W100は、本機および TASCAM 対応機種で使用可能な壁埋め込み型プログラマブルコントローラです。

各出力のミックスバランス調整などが、TASCAM MX-D CONNECT を介さずに、RC-W100のボタンやツマミで簡単に行うことができます。

使用方法

コントローラー本体の設定および接続

RC-W100本体の ID を設定する

- RC-W100本体の接続端子面のディップスイッチのスイッチ 1～3 を以下のように組み合わせ、1～8の ID を設定します。



1	2	3	4
5	6	7	8

- 終端となる RC-W100本体のターミネーション (終端) を設定します。



- RC-W100を1台で接続する場合は、その RC-W100本体のディップスイッチ 4を [ON] 側に設定します。
- 複数の RC-W100をデジチェーンで、接続する場合は、ターミネーション (終端) となる RC-W100のディップスイッチ 4を [ON] 側に設定します。その他の RC-W100のディップスイッチ 4は、[OFF] 側に設定します。

本機と RC-W100を接続する

本機の RS-485 端子と RC-W100の RS-485 端子をカテゴリ 5e 以上のケーブルで接続します。

(RC-W100の2つある RS-485 端子のどちらに接続しても構いません。)

メモ

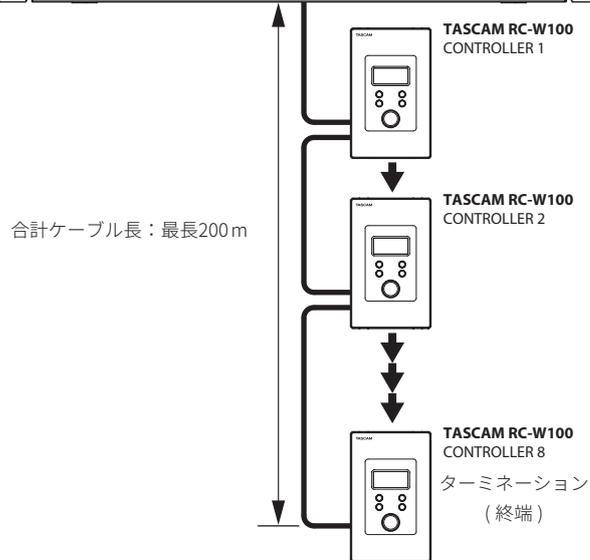
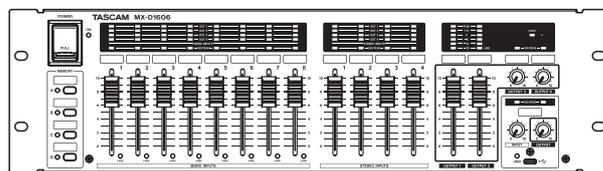
複数の RC-W100をデジチェーンで接続 (最大8台) する場合は、RC-W100の ID を重複しないように設定してください。

● 本機と RC-W100を2台以上接続する場合

複数の RC-W100を接続して使用する場合は、RC-W100同士を RS-485 端子でデジチェーン接続します。

- ターミネーション (終端) となる RC-W100のディップスイッチ 4を [ON] 側に設定します。
- その他の RC-W100のディップスイッチ 4は、[OFF] 側に設定します。
- 最大8台まで接続可能。
- 本機からターミネーション (終端) の RC-W100までの合計ケーブル長は、最長200 m です。

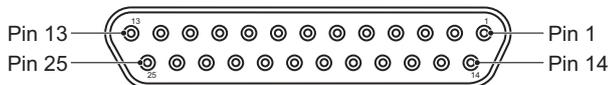
TASCAM MX-D1606



REMOTE I/O 端子の接続

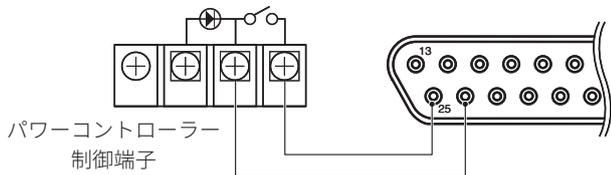
D-Sub 25ピンのリモートコントロール用 **REMOTE I/O** 端子 (29) です。

- 接続ワイヤーには、AWG 24サイズの撚り線をご使用ください。ケーブル長は最大50 mです。



ピン割り当て			
Pin No.	信号名	Pin No.	信号名
1, 2	GND	22, 23	GND
3~10	リモートイン [1~8]	24	リレー A
11~13	GND	25	リレー B
14~21	リモートアウト [1~8]		

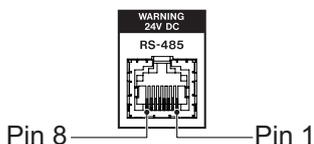
- Pin No. 3~10のリモートイン端子 [1~8] (パターンメモリー切換制御) とGNDを短絡すると、リモート入力端子項目で割り付けられたパターンメモリーに切り換わります。タイマー制御による自動放送や制御信号に対応した放送パターン自動選択システムなどに利用できます。
- Pin No. 14~21のリモートアウト端子 [1~8] (外部出力制御) は、リモートアウト端子項目で設定された状態が出力されます。
- 出力仕様は、オープンコレクターです。[ON] のとき GND、[OFF] のとき OPEN が出力されます。(最大電圧 = 35 V、最大許容電流 = 30 mA)
- Pin No. 24 [リレー A] 端子、Pin No. 25 [リレー B] 端子は、外部電源制御用端子です。**TASCAM AV-P** シリーズなど、外部制御に対応したパワーディストリビューターを制御することができます。接続は下図をご覧ください。(接続可能台数は、最大で1台です。)



外部コントローラー端子の接続 (RS-485 端子)

外部コントローラー RC-W100用 RS-485 端子 (24) です。

- 接続には、カテゴリ 5e 以上のケーブルを使用してください。

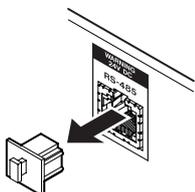


- 上図は、端子の正面より見た図になります。

RS-485ピン割り当て			
Pin No.	信号名	Pin No.	信号名
1	B (TD+)	5	GND
2	A (TD-)	6	NC
3	NC	7	NC
4	DC 24V	8	GND

メモ

RS-485 端子には、誤ってイーサネットの LAN ケーブルを差し込まないようにするカバーを取り付けてあります。使用する際は、カバーを外してからお使いください。



ユーロブロックプラグの接続について

ユーロブロックプラグへの配線は、下記の手順で行ってください。

1. ユーロブロックプラグの端子ネジを緩めます。

メモ

マイナスドライバーの先端の幅が2.5 mm 以下のドライバーをご使用ください。

2. ケーブルを差し込みます。

メモ

付属するユーロブロックプラグに適合するケーブルは、AWG 16 ~ AWG 28です。適合範囲内のケーブルを使用し、ケーブルの被覆を約7 mm 剥いてからユーロブロックプラグに差し込んでください。

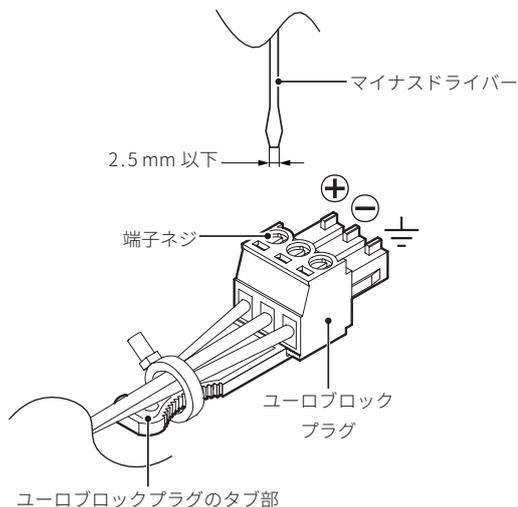
3. ユーロブロックプラグの端子ネジを締め付けます。

メモ

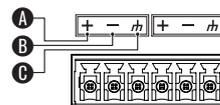
ケーブルを引っ張って、抜けないことを確認してください。

4. 付属のケーブルバンドを使用して、ケーブルをユーロブロックプラグのタブ部に固定します。

- ユーロブロック配線図



- ユーロブロック端子のピン配列図



- A : HOT、B : COLD、C : GND

第7章 トラブルシューティング／本体初期化設定

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

トラブルシューティング

電源が入らない

- 電源プラグがしっかりと差し込まれているかを確認してください。

音が出ない

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

信号が発振する

- メモリーレコーダーなどで、REC OUT L/R 端子 (㉔) と STEREO INPUTS L/R (1～4) 端子 (㉕) を同時に接続すると、信号がループして発振します。
その場合は、TASCAM MX-D CONNECT からマトリクスの設定で、入力端子の録音システムへのアサインをオフにしてご使用ください。

POWER インジケーターが点滅している

- 早い点滅 (0.2秒周期) をしている場合は、本体の初期化中、ファームウェア書き込み中、またはファイル転送中です。
点滅が終わるまでお待ちください。
点滅中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- その他のパターンや周期で点滅している場合は本機内部でエラーが発生しています。電源を入れなおしても再び同様の現象が発生する場合は、お買い上げ店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

フェーダー、つまみを動かしても音量が変化しない

- フロントパネルの LOCK スイッチ (㉑) がオンになっている場合、LOCK スイッチ (㉑) をオフにしてください。
- TASCAM MX-D CONNECT で、フェーダーの F.LINK (フェーダーリンク) 機能がオフになっているかを確認してください。

RC-W100でステレオ入力の音量操作ができない

- 対象のステレオ入力の F.LINK (フェーダーリンク) 機能がオンになっている場合、ステレオ入力の音量を RC-W100から操作するには F.LINK 機能をオフにする必要があります。

RC-W100でソースを切替後、すぐにボリュームを操作すると切替前のソースの音量が変わることがある

- ボリューム調整は、ソースセレクトボタンを押して1～2秒おいてから行ってください。

USB オーディオインターフェースを使用した際に、音切れやノイズが発生する

パソコンの負荷が原因で、音切れやノイズが発生します。
下記にパソコンの負荷を軽減させる方法をご紹介します。

1. 無線 LAN やアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバックグラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音切れやノイズの原因となります。
その場合は無線 LAN の通信を停止する、またはアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトを停止後して、お試しください。
2. お使いのオーディオアプリケーションにてバッファサイズ (レイテンシー) の設定を大きくすることをお試しください。(Windows のみ)

メモ

オーディオアプリケーション側で、パソコンへの負荷を減らす方法については、オーディオアプリケーションのメーカー様にお問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows の場合]

● パフォーマンスオプション

1. ご使用の OS に適した設定方法で、<システム>を開きます。
2. <システムの詳細設定>をクリックします。
3. <システムのプロパティ>画面の<詳細設定>タブで、<パフォーマンス>枠の<設定>をクリックします。
4. <パフォーマンスオプション>画面の<視覚効果>タブで、<パフォーマンスを優先する>を選択します。

● 電源オプション

1. ご使用の OS に適した設定方法で<コントロールパネル>を開きます。
2. <ハードウェアとサウンド>をクリックします。
3. <電源オプション>をクリックします。
4. <電源プランの選択>で、<高パフォーマンス>を選択します。

メモ

項目が表示されていない場合は、<追加のプランを表示>のプルダウンボタンを選択して表示します。もしくは、<電源プランの作成>をクリックしてください。

[Mac の場合]

1. アップルメニューより<システム環境設定>画面を開き、<省エネルギー>を選択します。
2. <コンピュータのスリープ>を<くしない>に設定します。
3. <ディスプレイのスリープ>を<くしない>に設定します。

メモ

macOS のバージョン、または Mac によっては、この設定がない場合があります。

4. USB ポートの差し替えてください。
USB ポートによっては、本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別の USB ポートに接続してください。

メモ

- その他の USB 機器は、接続せずにお試しください。
(USB キーボード / USB マウスは、接続しても構いません)
- USB ハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の (オンボードの) USB ポートに接続してください。

本体初期化設定

専用アプリケーションで変更した各種設定情報を、以下の手順で工場出荷時の状態に戻すことができます。

注意

初期化中は、絶対に電源をオフにしないでください。本機の故障の原因となります。

1. 本機の電源をオフにします。
2. 動作モード切換えスイッチ (㉓) を [初期化モード (INITIALIZE)] に設定します。
3. 本機の電源をオンにします。
初期化中は、POWER インジケーター (㉒) が点滅します。
4. 初期化が終了すると POWER インジケーター (㉒) が点灯します。
5. 本機の電源をオフにします。
6. 動作モード切換えスイッチを [通常モード (RESUME)] に戻します。

	動作モード切換えスイッチ
通常モード	■■■■ RESUME
初期化モード	■■■ INITIALIZE

ミキサー仕様

入力チャンネル

モノラル：独立8系統、スライド式フェーダー
ステレオ：独立4系統、スライド式フェーダー

- MONO INPUTS 7-8をステレオリンクした際には、モノラル6系統、ステレオ5系統になります。

USB オーディオ：独立1系統 (1ステレオ)、ボリュームツマミ

出力チャンネル

ステレオ：独立2系統、スライド式フェーダー

モノラル：独立2系統、ボリュームツマミ

USB オーディオ：独立1系統 (1ステレオ)、ボリュームツマミ

入出力マトリクス

最大13×4

- MONO INPUTS 7-8をステレオリンクした際には、12×4になります。
- USB OUT および REC OUT は、ステレオ・モノラル出力チャンネルバスと共用です。

アナログオーディオ入出力

MIC/LINE 入力 (MONO INPUTS 1-8チャンネル)

コネクタ：ユーロブロック (バランス) 3.81 mm ピッチ

MIC 選択時

最大入力レベル : -21.5 dBu
(GAIN: HIGH、INPUT GAIN 最小)
+6.2 dBu
(GAIN: LOW、INPUT GAIN 最小)

最小入力レベル : -57.5 dBu
(GAIN: HIGH、INPUT GAIN 最大)
-29.8 dBu
(GAIN: LOW、INPUT GAIN 最大)

入力インピーダンス : 2.4 kΩ以上
ファンタム電源 : +48V 供給可能
ゲイン

LOW - HIGH 可変範囲 : 約 30 dB

LINE 選択時

最大入力レベル : +24.0 dBu
規定入力レベル : +4.0 dBu
入力インピーダンス : 10 kΩ以上

LINE 入力 (STEREO INPUTS 1-4チャンネル)

コネクタ : RCA ピンジャック (アンバランス)
最大入力レベル : +6.0 dBV
規定入力レベル : -10.0 dBV
入力インピーダンス : 10 kΩ以上

LINE 出力 (OUTPUTS 1-4チャンネル)

コネクタ : ユーロブロック (バランス) 3.81 mm ピッチ
最大出力レベル : +24.0 dBu
規定出力レベル : +4.0 dBu
出力インピーダンス : 110 Ω以下

REC OUT 出力

コネクタ : RCA ピンジャック (アンバランス)
最大出力レベル : +6.0 dBV
規定出力レベル : -10.0 dBV
出力インピーダンス : 110 Ω以下

0dBu = 0.775 Vrms

0dBV = 1 Vrms

デジタルオーディオ入出力

USB オーディオ

コネクタ : USB Type-C
規格 : USB 2.0 HIGH SPEED (480 Mbps)
入力数 : 2 ch

出力数 : 2 ch
サンプリング周波数 : 48 kHz
ビット深度 : 24 bit

コントロール入出力

ETHERNET (制御用)

コネクタ : RJ-45
Ethernet 規格 : 100 BASE-TX
プロトコル : TCP/IP
ケーブル : カテゴリー 5e 以上の STP ケーブル

REMOTE I/O

コネクタ : D-sub 25 ピン プラグ インチネジ
入力回路 : プルアップ
出力回路 : オープンコレクタ
耐圧 : 35 V
最大電流 : 30 mA
リレー A/B : 30VDC 1A or 110VDC 0.3A (30W)

RS-485 (RC-W100用)

コネクタ : RJ-45
規格 : RS-485
ケーブル : カテゴリー 5e 以上の STP ケーブル

オーディオ性能

マイクアンプ EIN (入力換算雑音)

-126 dBu 以下
(MIC 入力 → LINE 出力、GAIN 最大、入力インピーダンス 150 Ω、22 kHz LPF+A、JEITA)

周波数特性

20 Hz ~ 20 kHz ±0.5 dB
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、JEITA)

ダイナミックレンジ

100 dB 以上
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、22 kHz +A、JEITA)

歪率

0.009 % 以下
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、-6 dBFs、JEITA)

クロストーク

100 dB 以上
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、1 kHz サイン波、JEITA)

JEITA : JEITA CP-2150 準拠

設定用ソフトウェア OS 動作条件

対応 OS : Windows 11 64 bit
: Windows 10 64 bit

CPU : Intel® 第3世代 Core™ プロセッサ以降の Core i シリーズ

メモリー : 8GB 以上

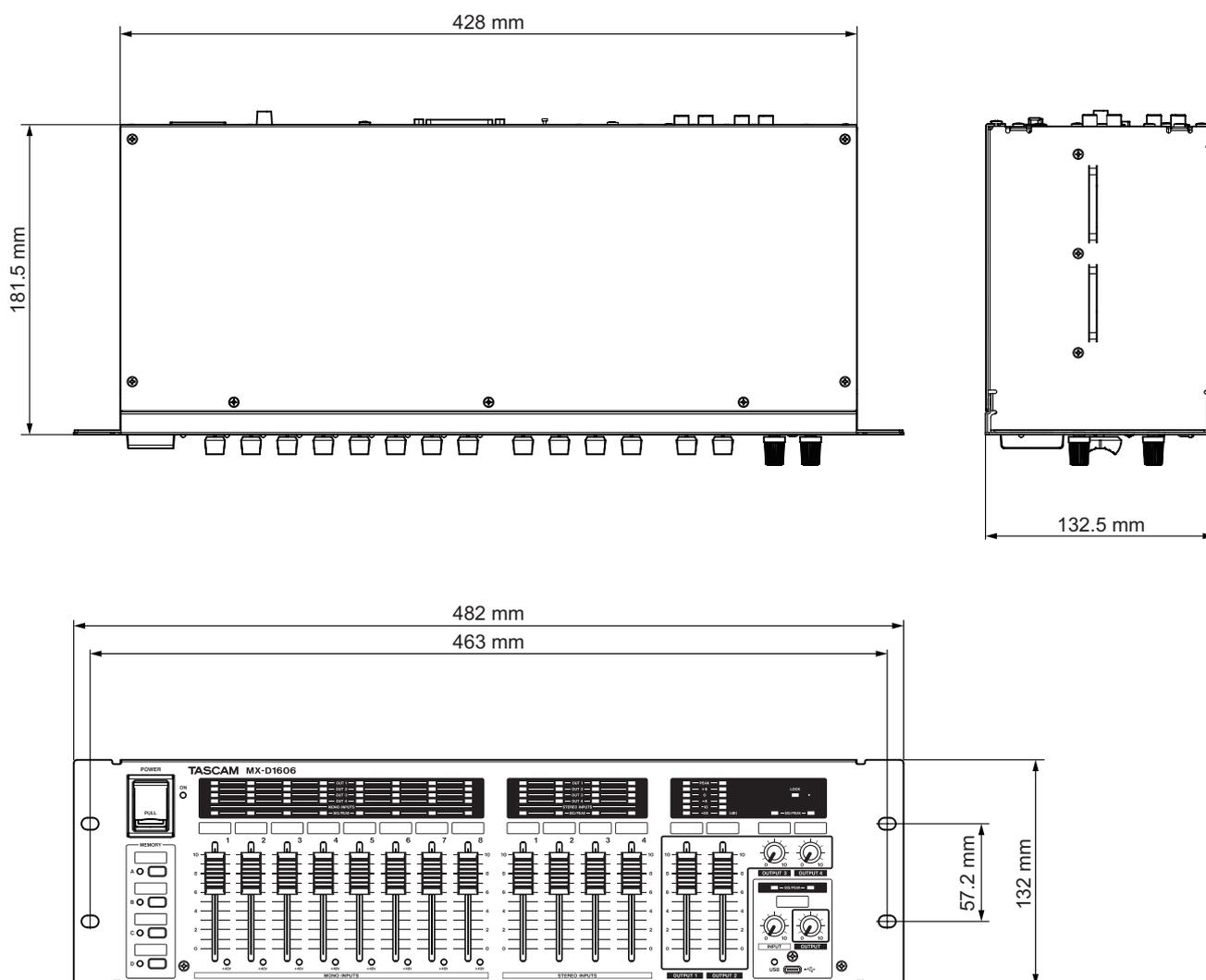
ディスクの空き容量 : 150 MB 以上の空きが必要

画面解像度/色数 : 1280 × 720ドット以上
True Color (32 bit) 推奨

一般

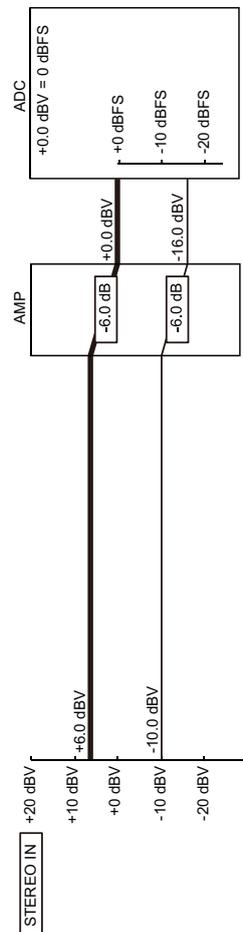
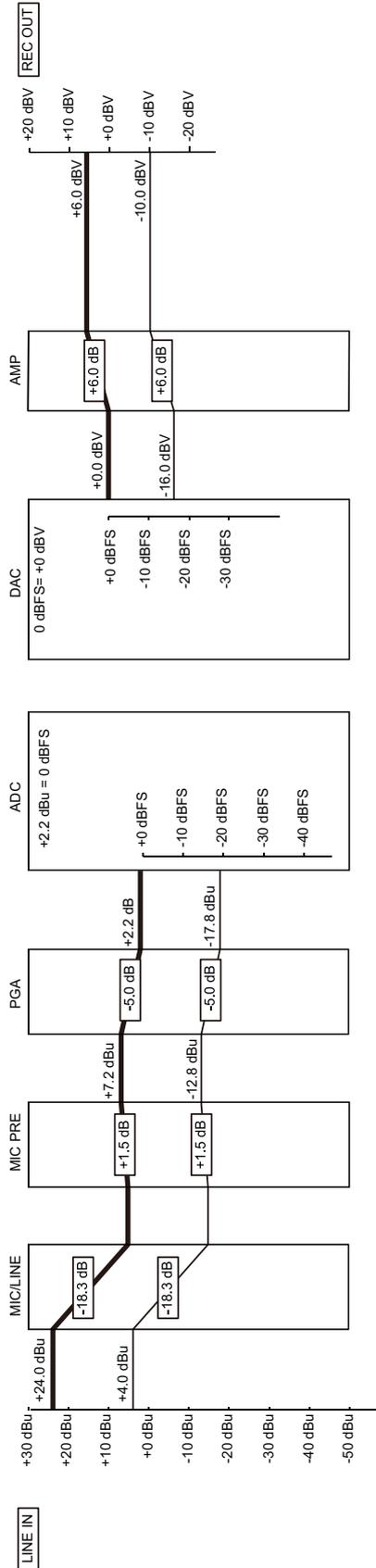
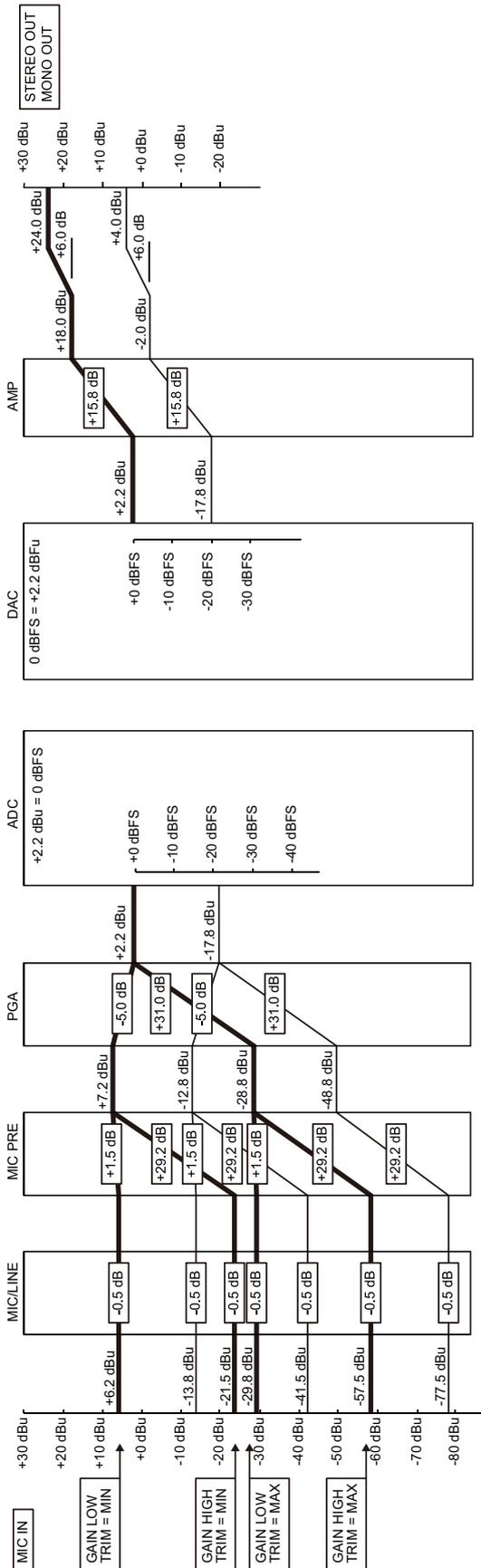
電源 : AC100V、50/60 Hz
消費電力 : 21 W
外形寸法 (突起部を含まず) : 482 mm × 132.5 mm × 181.5 mm
(幅 × 高さ × 奥行き)
質量 : 5.5 kg
動作温度 : 5 °C ~ 40 °C
動作湿度 : 25 ~ 85%RH (32°C時、結露なきこと)

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

レベルダイアグラム





無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

- (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社 〒 206- 8530 東京都多摩市落合 1- 47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒 206- 8530 東京都多摩市落合 1- 47

● 電話 **042- 356- 9137** 携帯電話・PHS・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570- 000- 809** 一般電話から

● FAX **042- 356- 9185**

受付時間は、10: 00 ~ 12: 00 / 13: 00 ~ 17: 00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒 358- 0026 埼玉県入間市小谷田 858

● 電話 **04- 2901- 1033** 携帯電話・PHS・IP 電話から

● ナビダイヤル  **0570- 000- 501** 一般電話から

● FAX **04- 2901- 1036**

受付時間は、9: 30 ~ 12: 00 / 13: 00 ~ 17: 00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0226.MA-3700C

保証書

品名 および 形名	MX-D 1606	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	〒 住所
	〒 住所	

販売店	〒 住所	
電話	()	

見本

ティアック株式会社

〒 206- 8530 東京都多摩市落合 1- 47

ティアック修理センター

〒 358- 0026 埼玉県入間市小谷田 858

電話：04- 2901- 1033 / 0570- 000- 501

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

